

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

進路に小凶んでいたときに、習っているピアノの先生から音楽療法士という職業を教えてくださいました。志望校を同志社女子大学に決めた理由は、音楽療法を学べるコースがあることと、総合大学なので音楽以外の分野にも触れることができ、将来の選択肢が広がると考えたからです。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強、実技試験対策の進め方について。※音楽学科入試課題については、『2020年度音楽学科入試課題』で必ずご確認ください。

〔1学期〕

オープンキャンパスに行き、大学受験へのモチベーションを高めました。過去問を解いたり、実技の曲を決めて練習していました。推薦入試Mを受験しようと考えていたので、小論文とピアノを中心に進めていました。

〔夏休み〕

大学の夏期講習へ参加するために、ピアノと楽典に力を入れて勉強していました。夏期講習では1日に楽典のテストがあり入試の雰囲気を経験することで、今後の試験のイメージを膨らませることができました。また、ピアノのレッスンは、その曲が作られた背景や作曲家の特徴などを踏まえて演奏することの大切さを学びました。

〔2学期～入試直前〕

推薦入試で不合格になってからは、一般入試にむけて国語の勉強と音楽科目を並行して進めていました。一番大変だったのは、小論文です。どのような題がでて文章を書けるように、小論文の書き方の本や音楽史の本を読みました。制限時間内に書ききれるよう、時間を計って何度も過去問を解きました。また、冬期講習にも参加し、全ての試験科目のレベルを上げることを意識して進めました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

試験当日にしっかりと力を発揮できるように、体調管理には特に気を使いました。外出にはマスクをして、帰ってきたら手洗いとうがいを心がけました。リビングで勉強すると、ついテレビを見たり家族と話をしたりしてしまうので、なるべく自分の部屋で勉強しました。スマートフォンや漫画はわざと取り出しにくい場所にしまって触らないようにすることで、勉強に集中する環境を作りました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

大学受験では、絶対にこの大学へ入りたい！という気持ちが一番大切だと思います。そしてこの気持ちを強く持って、試験を頑張ってください。